

2年生へバトンタッチ 生徒会

～生徒会長選挙、9日から選挙活動へ 15日投票～

12月9日から生徒会長選挙の活動が始まり、15日には立会演説会・投票が行われます。

3年生から2年生へのバトンタッチに当たり、3年生生徒会役員の皆さんから一言いただきました。

◇生徒会副会長 四津谷咲里さん

生徒会行事で思い出に残るのは「全校鬼ごっこ」です。「生徒会の日」にどうしたら全校のみんなが楽しむことができるか、という視点をもって計画し、学年間で仲を深めるような活動にすることができました。これからも学校がよりよくなるよう努めたいです。

◇事務局長 中川陽太さん

生徒会に入り、いろいろな経験ができました。特に学校祭の準備活動では、どうすれば盛り上がるか、全員で楽しめるかを考え、成功させることができました。生徒会活動の経験から、いろいろな視点で考える大切さを学びました。前だけではなく、周りも見るようにして生活したいです。

◇事務局員 大倉史也さん

夏休みに、学校祭での手形アートの準備や開・閉会式のパフォーマンス練習をしたことがよい思い出となりました。毎朝のあいさつ運動や「生徒会の日」の運営も役割を果たすことができ、ほっとしています。

◇文化委員長 後藤公佑さん

今年度成果のあった活動は、読書強調週間でした。1回目は、放送による「お薦め本の紹介」、2回目は、図書室にくじを設置しました。本を読みやすい環境作りと、たくさんの人に図書室に来てもらえるような工夫がよかったと思います。

◇生徒会長 青山哲大さん

1年間、生徒会長を務めさせてもらいました。夏休み中の執行部会では、話が上手く進まず、自分の力の足りなさを痛感しました。結果的に「学校祭ひがし」「生徒会の日」を盛り上げることができ、企画・運営とも成果を上げることができました。執行部の皆さん、全校の皆さんに感謝します。

◇全校委員長 小林日理さん

全校委員会では、初めての試みである「学級力向上プロジェクト」を行いました。最初はあまり積極的な行動ができなかったけれども、クラスでの声かけや資料の掲示などで関心をもってもらうことができました。また、全校朝会では、臨機応変な対応を心がけ、最初は不安を感じましたが、ベストを尽くすことができました。

◇生活委員長 雄鹿良音さん

僕は、この1年間、あいさつ運動に積極的に取り組むことができました。また、放送を時間通りに行うことができました。

全校の皆さん、生活委員会の活動に協力していただき、ありがとうございました。

◇JRC委員長 柴田恭輔さん

今年は、水曜日の放課後に花壇の草取り作業を行いました。皆さんの協力のおかげできれいな花壇を保つことができました。また、ペットボトルキャップ回収や募金活動の呼びかけなども副委員長や他の委員の皆さんと協力して行うことができました。1年間、ありがとうございました。

◇衛生委員長 工藤心春さん

この1年間、衛生委員の日常活動や委員会での司会や行事での役割をしっかりと果たすことができ、ほっとしています。先生方や全校の皆さんの支えによってできたと思います。ありがとうございました。

◇応援団長 鈴木陽斗さん

最初ははずかしさもありましたが、全力で活動することができました。激励会では活気のある応援を目指し、昨年先輩たちにも負けない応援活動ができました。全校の皆さんのご協力に感謝します。



わが東中
校訓..共に羽ばたく

能代市立能代東中学校

校報第16号

令和4年12月9日

文責：平澤秀樹



1年生で食の指導

12月1日(木)3校時に、栄養教諭・畠山先生をお迎えして、1年生で「食の授業」を行いました。毎日、朝食を食べる人と食べない人では、成績や集中力だけでなく、運動能力やパフォーマンスにも差がでることをデータで知り、生徒にとってとてもインパクトのある授業になりました。



新しい公立高校入学者選抜制度の概要 ～令和5年度入学者(現・中3)から 入試制度が変わります。～

令和5年度入学者から、秋田県公立高校の選抜方法が変わります。すでに、学年部報等でご承知とは思いますが、昨年度までの「これまでの入試」と現中3から受検する「新しい入試」について、概要を比較してみました。

	これまでの入試	新しい入試(現・中3から)
1 選抜の種類	<ul style="list-style-type: none"> ・前期入試を1月下旬に実施。 ・一般選抜を3月上旬に実施。 ・二次募集を3月下旬に実施。 (募集人員に充たない場合) 	<ul style="list-style-type: none"> ・一次募集として、「特色選抜」と「一般選抜」を3月上旬の同一日に実施。 ・「特色選抜」志願者は同一の高等学校において「一般選抜」との併願が可能。 ・二次募集はこれまでどおり実施。
2 募集人員の割合	<ul style="list-style-type: none"> ・前期選抜の募集人員は、各学科の募集定員の10～30%の範囲で各高校が設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特色選抜の募集人員は、各学科の募集人員の10～50%の範囲で各高校が設定する。
3 学力検査	<ul style="list-style-type: none"> ・前期選抜は3教科(国、数、英) ・一般選抜は5教科(国、数、英、理、社) ・定時制一般選抜は3教科(国、数、英) 	<ul style="list-style-type: none"> ・特色選抜、一般選抜ともに5教科の<u>同一問題</u>で実施。 ・定時制においても<u>5教科</u>で実施。
4 調査書の調整評定値	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>中学校3年次の評定を</u>基に算出。 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>中学校1～3年次の評定を</u>基に算出。 ※1
5 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・前期選抜における出願の条件、配点等を公表。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各高校が求める生徒像、選抜方法等を公表する。 ※2

※1 評定について

右表のように、国語、社会、数学、理科、英語、音楽、美術、保健体育、技術・家庭の第1学年から第3学年までの評定を点数化する。その際、入学者選抜において、学力検査を課さない音楽、美術、保健体育、技術・家庭については、評定を2倍して合算し、評定の合計を195点満点とする。昨年度までは、中3の評定のみ。

※2 求める生徒像、選抜方法等の公表について

令和5年度秋田県公立高等学校入学者選抜実施要項において公表されている。

教科	評定			
	1年	2年	3年	合計
国語	5	5	5	15
社会	5	5	5	15
数学	5	5	5	15
理科	5	5	5	15
英語	5	5	5	15
音楽	10	10	10	30
美術	10	10	10	30
保健体育	10	10	10	30
技術・家庭	10	10	10	30
合計	65	65	65	195